

床材の常識が変わります！

価値観を

■住まいの本質価値を守る

これまでの日本の住宅は、建てては壊すスクラップ&ビルドが主流でしたが、欧米ではメンテナンスをしながら長く住み続ける文化です。そこに使用される建築材も、耐候性や耐久性が高い事、痛みにくい事、痛んでも補修が出来る事など、長く住み続ける工夫が施され改善改良されてきました。

日本の床は耐久性とメンテナンス性が脆弱です。接着剤とクギで固定するため、張り替えるには躯体を破壊する大掛かりな工事を要します。ペルゴラミネートフロアは、高い強度と接着剤やクギを使わず構造を痛めない“フローティング工法”により、畳のように置くだけなので将来の張り替えが容易に行えます。

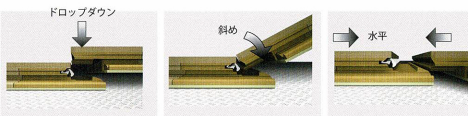
物を選ぶ際、10年後、20年後も最初の美しさが保たれているかという視点で考える事も大切です。

日本の家屋もその価値を守る時代がやってきました。まずは【床】から！常識を変えてみませんか？

【パーフェクト・フォールド】国際的な特許のクリック式施工システム

「ノリ」「クギ」を使わない置き敷き施工で、従来のクリックタイプのラミネートフロアと比較しても早く施工ができます。

動画を見てみよう！→



■床から健康を考える

人はどこから空気を吸っているのでしょうか？

実は右図の通り人体の産熱で人体周辺から上昇気流が生じ、

“床付近”の空気を主に吸引していることが分かりました。

呼吸源である床面を清潔に保つ為に、汚染物質（接着剤や塗料、防腐・防蟻材など）に十分配慮している事。また、ハウスダストと呼ばれるホコリ（ダニの死骸・花粉・ペットの毛・皮膚の屑）などが溜まり難く、床掃除し易い事など、床材選びに於いて配慮すべきポイントとなります。

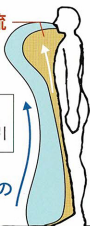
ペルゴラミネートフロアは塗装をせず、目地（溝）もないので、

ホコリが溜まるすき間も出来ません。

健康まで考えて床材を選んでみませんか？

（センセーションシリーズには目地がありますが、小さい目地の為ホコリが溜まりにくい構造になっています）

上昇気流



上昇気流が発生し、
床付近の空気まで吸引

床付近の
空気

出典【IBEC No.116】



大臣認定 No.MFN-2543

【床暖房にも対応】第2の心臓と呼ばれる足の裏の体感温度を適温に保つ為に、ぜひ床暖房との併用をお勧めいたします。